

様式第二号の九（第八条の四の六関係） (第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月23日

吹田市長 様

提出者

住所 箕面市箕面4丁目8番66号

氏名 大和ハウス工業株式会社 北摂支社  
支社長 田村 英雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-720-2535

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

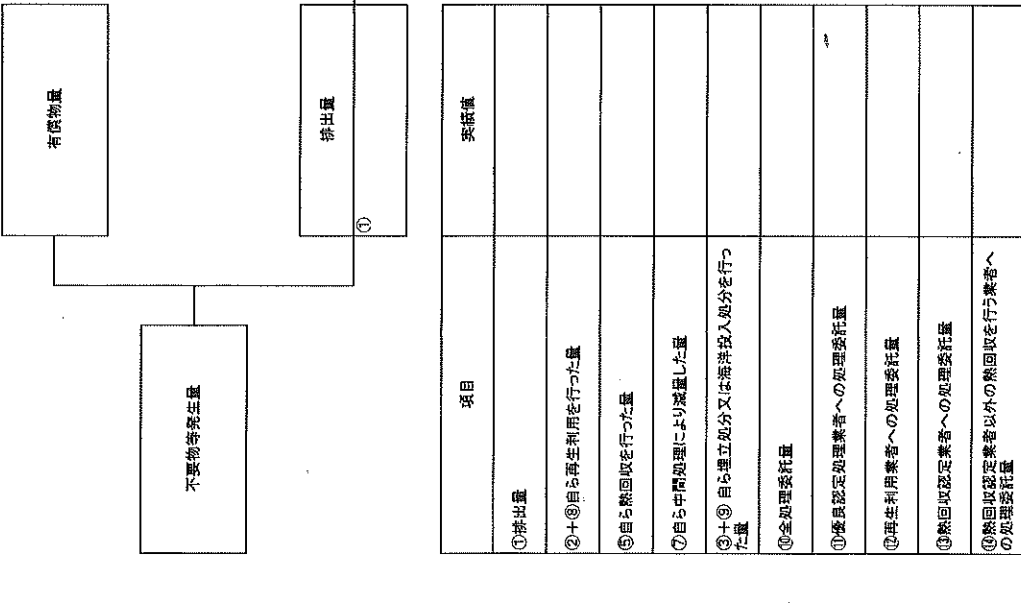
事業場の名称	吹田市管轄内事業場
事業場の所在地	吹田市管轄区域内
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

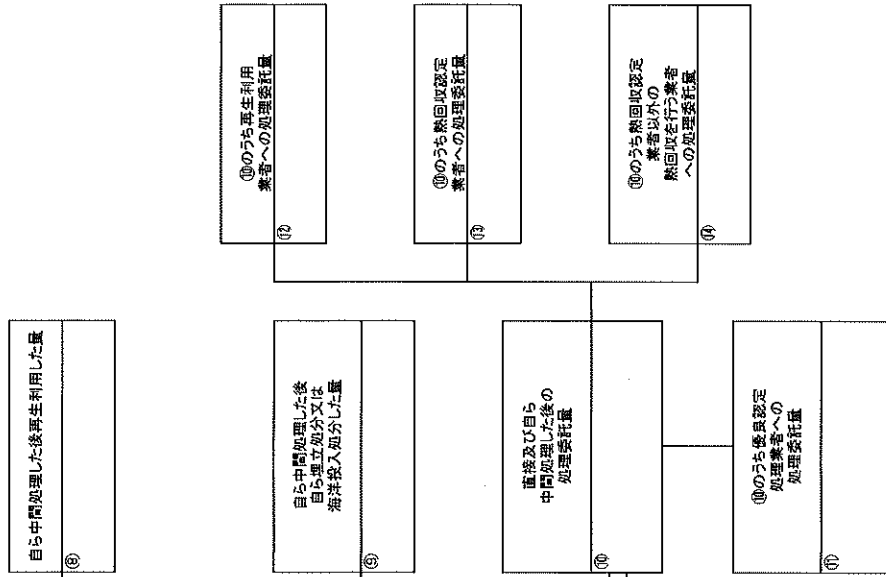
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4054.486 t	全処理委託量	4054.486 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	1341.188 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	3997.066 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.341 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)



別紙3のとおり



②のうち再生利用業者への処理委託量	②
③のうち燃回取認定業者への処理委託量	③
④のうち燃回取認定業者以外の燃回取を行う業者への処理委託量	④

項目	実収量
①排出量	
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら燃回取を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬燃回取認定業者への処理委託量	
⑭燃回取認定業者以外の燃回取を行う業者への処理委託量	

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)  
(令和2年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	①排出量	計 画 の 実 施 状 況							⑩直接及び 自中問処 理した後の処 理委託量(全 処理委託量)	委 託 先 に よ る 区 分				⑫+⑬ 自再生利 用を行った量	⑭+⑮ 自埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量
		②自直接 再生利用した 量	③自直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自中問 処理した量	⑤⑥のうち 熱回収を行っ た量 (自熱回収 を行った量)	⑥自中問 処理した後の 残さ量	⑦自中問 処理により減 量した量	⑧自中問 処理した後再 生利用した量		⑨自中問 処理した後自 埋立処分 又は海洋投 入処分した量	⑪⑯のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量 (優良認定処 理業者への 処理委託量)	⑯⑰のうち 再生利用業 者への処理 委託量(再生 利用業者へ の処理委託 量)	⑰⑱のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量(熱 回収認定業 者への処理 委託量)		
100 燃え殻							0.000							0.000	0.000
200 汚泥							0.000							0.000	0.000
300 廃油							0.000							0.000	0.000
400 廃酸							0.000							0.000	0.000
500 廃アルカリ							0.000							0.000	0.000
600 廃プラスチック	74.717						0.000			74.717	21.368	55.283	19.434	0.000	0.000
700 紙くず	5.436						0.000			5.436	0.037	5.436		0.000	0.000
800 木くず	71.543						0.000			71.543	12.033	71.543		0.000	0.000
900 繊維くず	0.120						0.000			0.120	0.120			0.000	0.000
1000 動物性残渣							0.000							0.000	0.000
1100 ゴミくず							0.000							0.000	0.000
1200 金属くず	1.605						0.000			1.605	0.147	1.605		0.000	0.000
1300 ガラスくず・コンク リートくず及び陶磁 器くず	81.575						0.000			81.575	0.976	71.575		0.000	0.000
1400 鉱さい							0.000							0.000	0.000
1500 がれき類	847.440						0.000			847.440	725.071	847.440		0.000	0.000
1600 動物の糞尿							0.000							0.000	0.000
1700 動物の死体							0.000							0.000	0.000
1800 ばいじん							0.000							0.000	0.000
2020 建設系混合廃棄物	8.000						0.000			8.000		8.000		0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
							0.000							0.000	0.000
合計	1,090.436	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,090.436	759.752	1,060.882	19.434	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。  
※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑯)に示す量を入力。